



# ねじ込み式可鍛铸铁製管継手

JIS B 2301 : 2013

(JPFA/JSA)

平成 25 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所（一般社団法人日本ばね工業会）
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所（東京電機大学）
	田 淵 宏 政	一般社団法人日本バルブ工業会
	千 葉 誠	一般社団法人日本フルードパワー工業会
	遠 山 史 雄	一般社団法人日本ベアリング工業会
	堀 功	日本工具工業会
	宮 島 義 嗣	大阪機工株式会社（一般社団法人日本工作機械工業会）

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 25.3.30 改正：平成 25.11.20

官 報 公 示：平成 25.11.20

原 案 作 成 者：日本金属継手協会

（〒104-0031 東京都中央区京橋 3-14-6 斎藤ビル TEL 03-3564-2035）

一般財団法人日本規格協会

（〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会（委員長 高増 潔）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 継手の大きさの呼び	5
6 流体の状態と最高使用圧力との関係	6
7 形状・寸法及び寸法許容差	6
7.1 ねじ	6
7.2 ねじ軸線の狂い	7
7.3 面取り	7
7.4 バンド	7
7.5 リブ	7
7.6 二面幅	7
7.7 多角形状	7
7.8 二面の高さ	7
7.9 止めナット	7
7.10 主要寸法	7
8 性能	8
8.1 継手の材料	8
8.2 めっき	8
8.3 内面樹脂コーティング	8
8.4 外面樹脂被覆	8
8.5 耐圧性	9
8.6 耐漏れ性	9
9 外観	9
10 試験方法	9
10.1 継手の材料	9
10.2 めっき試験	9
10.3 内面樹脂コーティング試験	9
10.4 外面樹脂被覆試験	9
10.5 耐圧試験	9
10.6 漏れ試験	9
11 検査	10
11.1 検査の種類及び検査項目	10

	ページ
11.2 材料検査 .....	10
11.3 めっき検査 .....	10
11.4 内面樹脂コーティング検査 .....	10
11.5 外面樹脂被覆検査 .....	10
11.6 ねじ検査 .....	10
11.7 ねじ軸線の狂い検査 .....	11
11.8 形状・寸法検査 .....	11
11.9 耐圧検査 .....	11
11.10 漏れ検査 .....	11
11.11 外観検査 .....	11
12 製品の呼び方 .....	11
13 表示 .....	11
13.1 製品の表示 .....	11
13.2 包装の表示 .....	12
附属書 A (規定) 形状による種類及び継手の主要寸法 .....	13
附属書 B (参考) 寸法取り長さ .....	62
附属書 JA (規定) 内面樹脂コーティング .....	96
附属書 JB (規定) 外面樹脂被覆 .....	98
附属書 JC (参考) JIS と対応国際規格との対比表 .....	102
解 説 .....	109

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本金属継手協会（JPFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 2301:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 26 年 11 月 19 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS B 2301:2004** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙
-----

## ねじ込み式可鍛鑄鉄製管継手

## Screwed type malleable cast iron pipe fittings

## 序文

この規格は、1994年に第2版として発行されたISO 49を基に制定された日本工業規格に、種類の追加及び前回改正時の課題に対応して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JCに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、水<sup>1)</sup>、油、蒸気、空気、ガスなどの一般配管<sup>2)</sup>に用いるねじ込み式可鍛鑄鉄製管継手<sup>3)</sup>（以下、継手という。）について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 49:1994, Malleable cast iron fittings threaded to ISO 7-1 (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

**注** <sup>1)</sup> 雑用水、消火用水、工業用水、空調用冷温水、冷却水などをいう。ただし、飲料用水は除く。

<sup>2)</sup> 主として配管用炭素鋼鋼管を使用する配管をいい、高圧用、電線管用及びその他の特殊な配管は除く。

<sup>3)</sup> 表面の状態が鑄放し、めっき、コーティング及び外面樹脂被覆の表面の状態のものをいう。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0151 鉄鋼製管継手用語

JIS B 0202 管用平行ねじ

**注記** 対応国際規格：ISO 228-1:1994, Pipe threads where pressure-tight joints are not made on the threads —Part 1: Dimensions, tolerances and designation (MOD)

JIS B 0203 管用テーパねじ

**注記** 対応国際規格：ISO 7-1:1994, Pipe threads where pressure-tight joints are made on the threads —Part 1: Dimensions, tolerances and designation (MOD)

JIS B 0205-4 一般用メートルねじ—第4部：基準寸法

JIS B 0253 管用テーパねじゲージ

JIS B 0254 管用平行ねじゲージ